

①市民の声と力を生かすまちづくり



▲3月に行われた元気なかのやづくり会議「街のにぎわいづくり意見交換会」

- 元気なかのやづくり会議 (20万8千円)
- 行政経営改革推進事業 (269万9千円)
- 地域再生会議 (25万5千円)
- 地域コミュニティ基盤整備事業 (633万8千円)

④地域で支えあう健やかで心のかようまちづくり



▲高齢者等訪問給食サービス事業

- 子ども医療費助成事業 (2億5,154万9千円)
- 任意3ワクチン接種事業 (1億5,421万9千円)
- 高齢者等訪問給食サービス事業 (1億766万7千円)
- 地域福祉計画策定事業 (170万2千円)

⑥自然と環境を大切にすふるさとづくり



▲地球温暖化防止のための太陽光発電システム等の設置補助

- 低公害車導入事業 (255万円)
- 環境対策推進事業 (275万2千円)
- 地球温暖化対策推進事業 (1,954万1千円)
- 小型合併浄化槽設置整備事業 (2億7,051万3千円)

②安全・安心な暮らしのあるまちづくり



▲耐震化整備を行う田崎小学校

- 管理放棄老朽家屋等実態調査事業 (385万円)
- 消防自動車購入事業 (4,127万2千円)
- 防災・行政・地域情報伝達システム整備事業 (101万1千円)
- 小・中・高等学校施設耐震化促進事業 (3億1,092万5千円)



⑦未来の郷土を担うひとづくり



▲4月に開校を迎えた輝北中学校

- 教育改革推進事業 (421万4千円)
- 特別支援教育推進事業 (3,215万7千円)
- かのや学校応援団事業 (129万8千円)
- 小・中学校スクールバス業務委託事業 (3,113万1千円)

③地域を元気にする産業づくり



▲今話題のかのや産深蒸し茶

- 「深蒸し茶の郷かのや」づくり事業 (988万1千円)
- 農産物処理加工施設整備支援事業 (7,300万円)
- 内発型産業育成支援事業 (1,000万円)
- IT技術者養成事業 (903万7千円)

⑤快適な生活を支えるまちづくり



▲平成22年度に整備された市道新川田崎線

- 公園整備事業(輝北ダム移転記念公園ほか) (6,695万2千円)
- 新町市営住宅建替事業 (2億6,636万1千円)
- 幹線道路等整備事業 (9,376万7千円)
- 防衛施設民生安定事業 (5,094万9千円)

⑧人・モノ・情報を結び付加価値の高いネットワークづくり



▲3月に全線開通した九州新幹線

- 新幹線効果活用対策事業 (1,127万1千円)
- 情報プラザシステム機器更新事業 (138万円)
- スポーツ宿泊まちづくりプロジェクト推進事業 (544万1千円)
- 元気なかのやグラウンドゴルフ大会 (112万円)

予算編成に当たって

平成23年度当初予算は、急速に進展する高齢化や過疎化の問題  
 ○長引く景気低迷や昨年4月に宮崎県で発生した口蹄疫の影響等による地域経済の停滞  
 ○学校の耐震化や道路・橋の維持・補修など、大規模な施設修繕への対応  
 など、極めて厳しい状況に置かれていることを踏まえた上で、共生・協働を基本に、人やまち、そして産業が生き生きと躍動する元気な「かのや」づくりを目指す施策・事業を積極的に展開する予算としました。

- ①市民の声と力を生かすまちづくり
- ②安全・安心な暮らしのあるまちづくり
- ③地域を元気にする産業づくり
- ④地域で支えあう健やかで心のかようまちづくり
- ⑤快適な生活を支えるまちづくり
- ⑥自然と環境を大切にすふるさとづくり
- ⑦未来の郷土を担うひとづくり
- ⑧人・モノ・情報を結び付加価値の高いネットワークづくり

歳入

企業業績の改善に伴う法人市民税の増などにより、3.4%の税収増が見込まれることな

「活力」を生み出していくため

○「九州新幹線の全線開業や食と健康・スポーツによる交流促進」  
 ○「内発型産業の振興による地域経済の活性化や雇用創出」  
 ○「市民が安全で安心して健やかに暮らせる環境の充実」の3つを政策の柱に、次の8つの施策を重点的に推進していきます。

会計別予算額の内訳

| 区分       | 当初予算額(千円)  | 前年度比較 |
|----------|------------|-------|
| 一般会計     | 40,987,000 | 8.3%  |
| 特別会計     |            |       |
| 国民健康保険事業 | 13,432,323 | 19.6% |
| 後期高齢者医療  | 962,209    | 57.9% |
| 介護保険事業   | 8,905,836  | 7.5%  |
| 公共下水道事業  | 1,067,743  | 13.4% |
| 下水道事業    | 40,405     | △0.6% |
| 輝北簡易水道事業 | 101,932    | 71.5% |
| 小計       | 24,510,448 | 15.6% |
| 合計       | 65,497,448 | 10.9% |

歳出

新年度予算の中から「8つの重点施策」にかかる事業の一部を7ページで紹介しています。

今後「選択と集中」の視点に立った事業の選別により、できるだけ市債発行を抑制するとともに、市債を発行する必要がある場合にも、財源措置がある利なものを選び、将来的にも健全財政を維持していきます。

後期高齢者医療

前年度比57.9%増の9億6,220万9千円となっています。これは、前年度が骨格予算であり、保険基金安定負担金にかかる広域連合納付金を6月補正予算で計上したことが主な要因です。

特別会計・公営企業会計

特別会計全体では、15.6%増の24億5,104万8千円で、主な特別会計の増減要因は次のとおりです。

国民健康保険

前年度比19.6%増の13億4,323千円となつています。これは、一般被保険者診療給付費の1人当たり単価が上昇したことに伴う保険給付費の増などによるものです。

公共下水道事業

前年度比13.4%増の10億6,774万3千円となつています。これは、前年度は骨格予算のため、一部の公共事業を6月補正対応としたことが主な要因です。

介護保険事業

前年度比7.5%増の8億5,300万9千円となつています。これは、要介護認定者数の増加に伴う在宅サービス及び地域密着型サービスの給付費の増が主な要因です。

水道事業

水道事業会計予算は、収入源と支出用途の性格によって、収益的収支と資本的収支に分かれます。収益的収支は水道事業の経営活動に、資本的収支は水道施設の整備事業に充てられます。

水道事業

| 区分    | 当初予算額(千円) |
|-------|-----------|
| 収益的収入 | 1,648,593 |
| 収益的支出 | 1,392,420 |
| 資本的収入 | 370,486   |
| 資本的支出 | 1,340,951 |